

## 理論訓示 第14回 自立と自律②

前回は、自立とは、自分でやるべき事を自分1人でやることである、と説明しました。今回は、もう一つの自律について説明します。

自律とは・・・？簡単に言うと、ルールを守ることです。

それでは自律できている人とは？・・・

ルールを守れる人です。

別の言い方をすると、ルールを守らなければならないという強い心を持ち、それを実行できる人です。

人間には弱い部分があります。

なまけたくなる時もあります。

ちょっとぐらいなら・・・とってルールをやぶりたいくなる時もあります。

ズルをしたくなる時もあります。

そんな弱い自分が出てきた時に、それに負けない強い心で対向して勝てる人。これが自律できている人です。

世の中には、たくさんの誘惑があります。

勉強を予定していた時間に、友だちから遊びに誘われたり、30分だけテレビを見てから勉強するつもりだったけど、テレビがおもしろすぎて、勉強時間がなくなったので宿題をいいかげんにやったり、難しくくてできない時、つい解答を見てうつしてしまったり・・・みなさんはこんな経験ありませんか？

このような誘惑に負けない強い心を持つ事も自律できているという事です。

しかし、さきほども言いましたが、人間には弱い部分もあります。

どんな誘惑にも、絶対負けない人・・・言い変えるなら完璧に自律できている人・・・

今まで、そのような人には出会った事はありません。ではどうすればいいのでしょうか？

まずは、大切な時に自律できるようになる事です。

何が大切で何が大切でないかの基準を決めるのも簡単な事ではありませんが、それでも自分が大切だと思った時は、完璧に自律できるようにがんばって下さい。

それができるようになったら、それ以外の事も自律できるように心がけて下さい。

さて、この『自立と自律』がなぜ思考力に必要か？なぜ学力に必要か？

これを次回の理論訓示で説明します。

それではさようなら。